

アリスの気持ち

私

立京都府立丹波高等学校

2 年

名前

佐伯すみれ

① 研究のきっかけ

ふしぎの国のアリスの主人公、アリスは、次つぎに起きる起きごとにもちが、ころころかわっていく。話の中に出てくる気もちは、何しゅるいで、どれだけあり、どんなふうにもちが、かわっていくのかを、調べてみたいと思った。

② 方法

(1) 本を読んで、気もちが、書かれている部分をぬき出し、しゅるいべつに分ける。

(2) 気もちのしゅるいを表とグラフで表す。二つ以上の気もちが、まざり合う場合は、べん図にする。

(3) 気もちのうつりかたを明暗に分けて、おれ線グラフにする。

(4) アリスの気持ちを表やグラフから読みとる。

①ウサギの穴におちて

つまらい

びっくり

がっかり

楽しい(すくすくあらう)

ざんねん

すてき

かなしい(なき出してしまいました)

②なみたのシ也

安心(ほっとしました)

かなしい(なき出してしまいました)

大好き

こわい(おそろおそろ)

かなしい(なみたがあらわれてきました)

③とても大会と長いお話

いざ(ゆうう)

人のためにききたい

かなしい(なみたがあらわれてきました)

ウサギのおうがしい(はなはな)

うとろく(ぎょうする)

かんねん

うたふ

こわい

こわい(おそろおそろ)

うたふ

うたふ

うたふ

うたふ

うたふ

うたふ

うたふ

うたふ

うたふ

うたふ

うたふ

うたふ

うたふ

うたふ

うたふ

うたふ

④青虫が教えてくれたこと

はずかしい(もいもい)

いらい

おじめ

うたふ

⑤おたんとこしょう

こわい

かあいう

べいはい

おどろく(どきどき)

こわい(おどろく)

⑥おかしなおち会

おこる(むつとする)

あくあく

あきれる(ためいきをつく)

いざ

おもしろい

⑦王へいかのクローケー工場

こわい(おどろく)

⑧シメがメもどきの話

ふしぎ(よく分かりません)

かあいう

⑨ロボスターのおどろ

安心(ほっとする)

ほっとする

⑩タルトをぬすんだのはたれ

うれしい

へん

おどろき

⑪アリスのほう言

かこる(大ごえで言う)

こわい

こわい(ギョッ)

あき

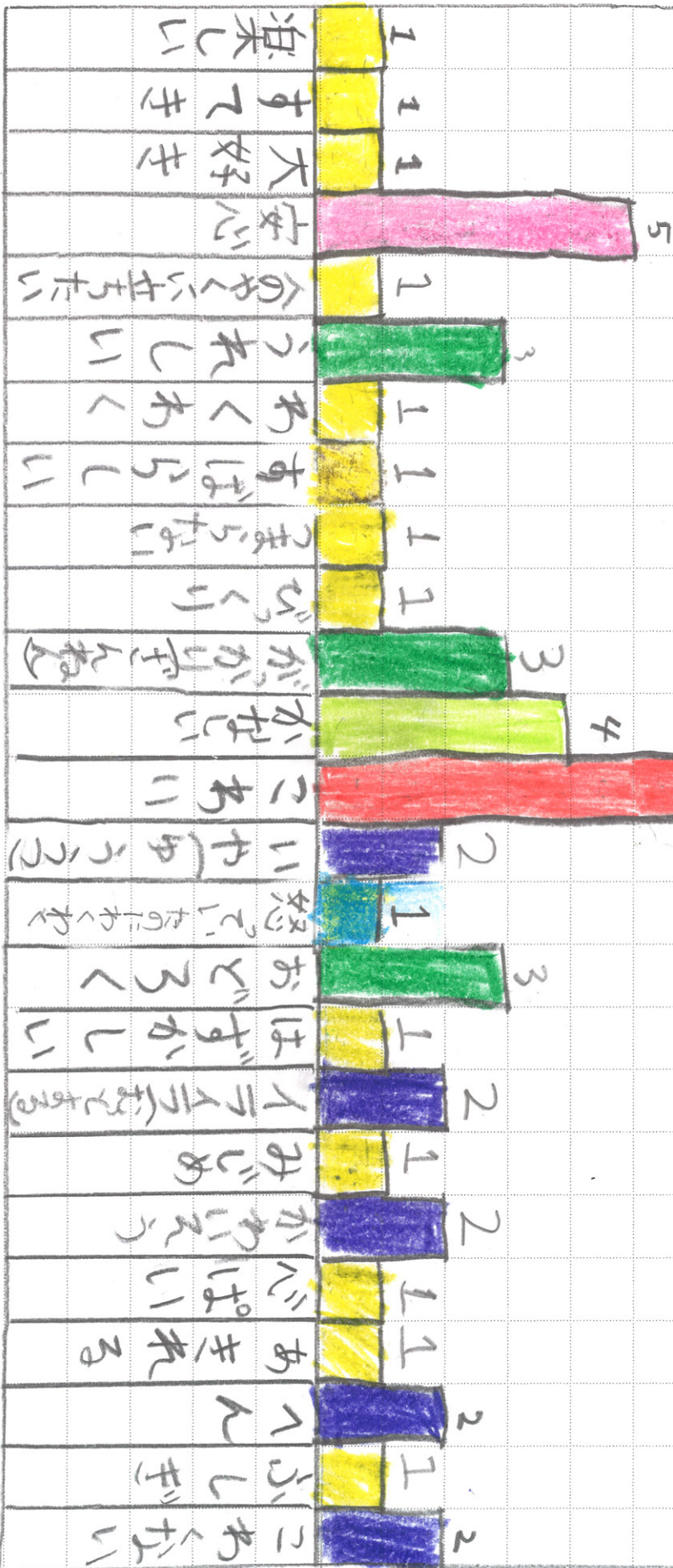
↑

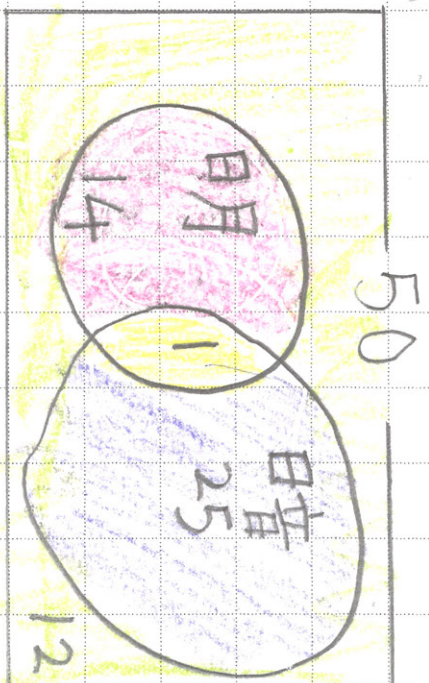
こえたつたから おもしろい

1封を1回
と数える。

アリスの気持ちしらべ

$$1 \times 14 + 2 \times 5 + 3 \times 3 + 4 + 5 + 8 = 50$$



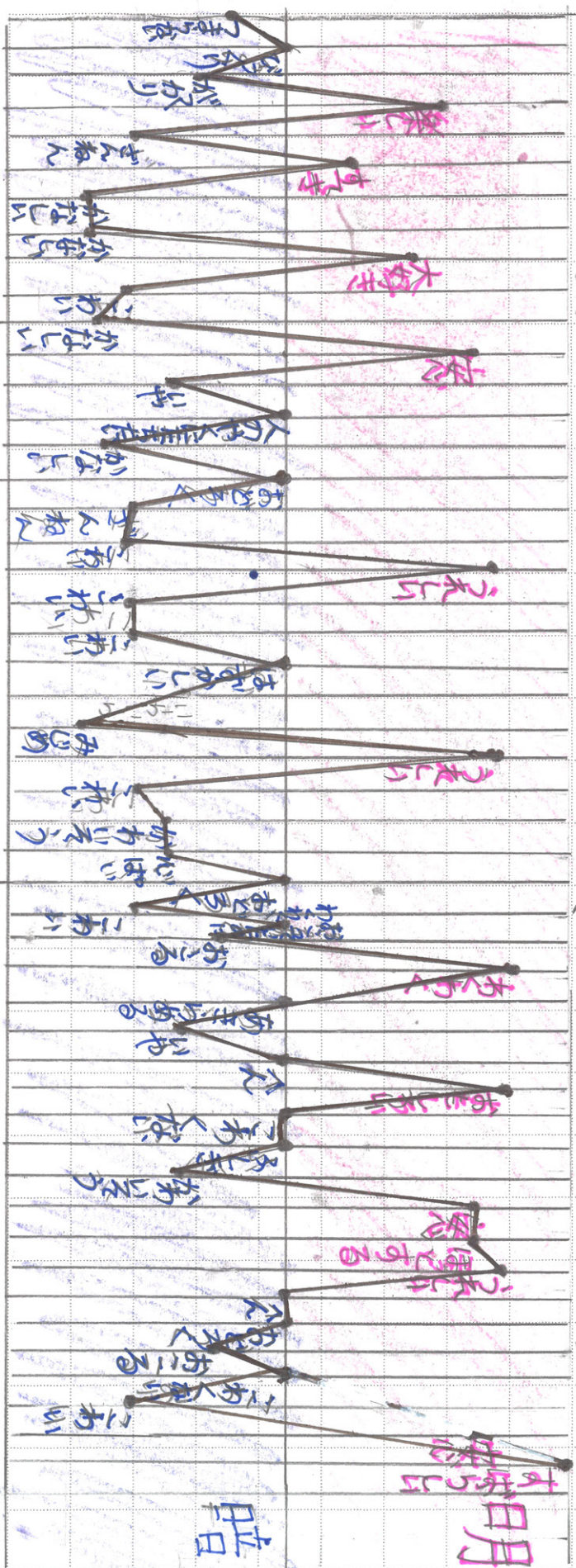


図明暗に
ベンをし
のちを
ち気数
持てを
のの
のフの
スグた
りのけ
ア下分

$$14 + 25 - 1 + 12 = 50$$

定数といふものにちかといふのは、 α にちかする。

アリ又の気持ちのうつりかち(上にくほど"月るゐ"気もち)



けっか

この話に出てくる気持ちは、ふしぎの国のアリスなので、ふしぎに思う気持ちが、一番多く出てくると思いたが、あいが一番多かた。おれ線グラフを見て、暗い気持ちの方が多い。また、どの場面でも、明るくなったり暗くなったり、気持ちのゆれが大きいことが分かった。ゆめからさめたアリスは、さい後、ゆめの出来ごとをすばらしいと言っている。明るい気持ちの中でも一番さい高の気持ちで、おあっている。出会う人たちが、みんなまともなことを言わないので、イライラしたり、暗い気持ちが多かたけれど、変あったことがおもしろくて、ジェットコースターのように、気持ちがゆれて、楽しかたのだと思た。

ちがうお話でも、とう場人物ごと、気持ちを表やグラフにして、気持ちが交わるところをさがしてみたい。

～ふしぎの国のアリス～

作ルイスキャロル～訳河合祥一郎～